

# 県クラブ選手権に優勝 習志野シティFC 関東大会へ

2020年度千葉県社会人サッカーリーグ1部が開幕した。

2プロックリーグ戦方式で行われ、習志野シティFCはグループB(7チーム)で戦う。

開幕戦は7月5日、ホームの第一カッターフィールドで、昨年に続き房総ローヴァーズ木更津FCと対戦した。前半は互いに無得点。雨の中の後半、習志野シティFCは齋藤がゴールキーパーの前でフリーになり先制。後半28分、ゴール前でフリーキックを得ると福島翔が蹴り、ローヴァーズの壁の上を越えたシュートは、ゴール右上に鮮やかに決まり、追加点を挙げる。さらに42分、ドリブルで侵入した黒須が鋭いシュートで3点目。ロスタイムをしつかり守りきり、3-0で開幕戦を完封勝利した。リーグ1部のグループB

## 決勝戦1-0で 船橋FCに勝利

全国クラブチームサッカー選手権大会千葉県予選の準々決勝は7月4日、千葉県フットボールセンターで開催された。習志野シティFCは市川SCと対戦し、後半25分に長谷川がゴール右側からネットを揺らした。決勝戦は7月18日午後1時30分から、千葉県フットボールセンターで無観客試合として行われた。

雨も止み、曇り空ながらも暑くはなく、まずまずのコンディションで試合は進行した。決勝戦の相手となった船橋FCは、昨年の1部リーグで2番目に失点の少ないチーム。今大会も一点も失点がなく勝ち上がってきた守備の堅いチーム。一方、習志野シティFCは昨年の1部リーグでは最も得点の多かったチーム。まさに、盾と矛の戦いとなった。



全国クラブチームサッカー選手権大会千葉県予選の決勝戦。船橋FCとの一戦は1点を争い両チームがしのぎを削った。相手ディフェンスを突破する釣巻選手。釣巻選手は逆を突き、ゴール右隅にシュート。それが決勝点となる(写真提供:習志野シティFC)

習志野と守る船橋、と習志野と守る船橋、と進む。習志野はボールを保持して攻める習志野に対し、船橋はしっかりと守って、カウンターからミドルシュートなどで得点をうかがう。前線のコンビネーションなどから攻め崩したい習志野だったが、船橋の堅い守りを崩せず、両チーム無得点で前半は終了。

後半、習志野は名古屋や神田など攻撃の選手を入れて攻めるが、船橋のゴール前でボールを持った釣巻が

を割ることができない。後半40分頃には、船橋がゴール前で混戦から立て続けにシュート。ゴールが決まれば船橋がタイトルを獲得していたという、習志野にとっては危機的なシーンだったが、ゴールキーパー田中がボールを確保する。その直後、アディショナルタイムに突入。アディショナルの時間は3分。

この結果、習志野シティFCは9月19日から21日に群馬県で行われる関東大会に千葉県代表として参加することが決定。新たな出発から初めて千葉県タイトルを手にした。

チームでは「まだまだ目標とする場所には達していませんが、一つ目のタイトルを手には、関東大会という新しい『山』に登りに向かいます。関東大会を前に、県リーグおよび県選手権(天皇杯県予選)があります。県内にはまだ登るべき『山』が二つあります。引き続き応援、支援をお願いします」としている。

(習志野シティFC公式観戦記から)

# 習志野市に隕石落下

## 国立科学博物館が確認

独立行政法人国立科学博物館は7月13日、習志野市に新しい隕石が落下したことを確認したと発表した。

7月2日午前2時32分、関東地方上空を西から東へ流れる大火球が観測されたが、その頃、市内のマンションに落下していた石から宇宙線生成核種からのガンマ線が検出され、科学博物館では隕石であると確認した。隕石の落下は一日

の4日、習志野市の一般人から千葉県立中央博物館へ隕石が落ちたのではないかと問い合わせがあり、5日に実物を確認後、科学博物館に調査が依頼された。

落下の状況は次の通り。大火球が流れた同じ頃、マンションの2階で大きな音がした。朝に玄関を開けると、玄関前の中庭に面した共用廊下に石の破片があることを発見した。その後、

火球のニュースを聞き、隕石の破片ではないかと思いい、翌朝拾って保管した。廊下の手摺りにも隕石が当たった跡と思われる傷があった。また、他にも破片があると思いい、4日に管理人と一緒に中庭を調べて二つ目の破片を発見した。二つ目の破片は雨と外気に2日間当たっていたため、隕石に含まれる金属が錆びて茶色くなっている。

隕石については、最初に発見された破片は重さ63g、大きさは45mm×30mm×25mm、2番目に発見された破片は重さ70g、大きさは50mm×35mm×20mm。二つの破片はきれいに合わさる部分があり、一つの隕石が割れたものと考えられ、外観から普通球粒隕石(コンドライト)の一種と思われるという。

科学博物館では6日から約1週間のガンマ線測定を行い、宇宙線により生成する放射性核種(宇宙線生成核種)のアルミニウム-26(半減期約70万年)、ナトリウム-22(半減期約2.6年)、マンガン-54(半減期約312日)、マンガン-52(半減期約5.5日)等を検出した。これにより最近落下した隕石であることが確認された、としている。



最初に発見された破片(左)と2番目に発見された破片(写真提供:国立科学博物館)



朝顔(アサガオ)は古くから親しまれ、江戸期から天正期頃まで品種を創り出す「朝顔アーム」が繰り返された。いまは日差しをささぎって涼しさを呼ぶ「緑のカーテン」として人気がある。

## 旧市役所庁舎市民課棟の朝顔

朝顔(アサガオ)は古くから親しまれ、江戸期から天正期頃まで品種を創り出す「朝顔アーム」が繰り返された。いまは日差しをささぎって涼しさを呼ぶ「緑のカーテン」として人気がある。

## 花ごよみ 葉月

お求めはASAでどうぞ

**朝日の本**  
あさひのほん

週刊朝日ムック  
歴史道 Vol.10  
定価900円(税込み)

特集は「江戸三百藩の暮らしと仕事」。独自基準で厳正審査した「江戸三百藩格付けランキング」徳川十五代將軍全探点、住居、給与ほか大名、下級武士の生活事情を検証。「疫病と戦い、克服してきた日本人の歴史」も必読。

お求めはASAでどうぞ

**朝日の本**  
あさひのほん

アサヒオリジナル  
スマホで困ったときに開く本  
2020-2021  
定価1210円(税込み)

累計250万部突破の朝日の「困った」シリーズ最新刊。スマホ初心者にやさしい「基本操作で困った」をはじめ、「LINEで困った」「スマホ全体の設定で困った」「スマホ決済で困った」を特集。